

政策名	1グローバルロジスティクスの港		責任者	企画調整室 企画担当課長	連携担当課
基本施策名	01国際・国内海上輸送機能の強化				
個別施策名	07ポートマーケティング機能を強化する		連絡先	052-654-7969	
事務事業名	10経済・物流動向の調査分析				

1 PLAN(目的・概要)

目的	名古屋港の貨物動向を分析し、港湾の経営戦略につなげます。	事業期間	平成21年度～継続
概要	欧米や新興国など国内外の経済・市場動向及び物流動向について調査を行います。	根拠法令・要綱等	
		実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

2 DO(実施)

21年度の実施内容 【及び22年度の実施予定】	平成21年度は、「世界経済と名古屋港の貿易動向ーアメリカの経済動向と名古屋港の自動車部品輸出についてー」と「全国輸出入コンテナ貨物流動調査から見えてくるコンテナ物流の現状と港湾絞込みへの対応」の2件の調査分析をおこないました。							
活動指標	年度	19	20	21	22	中間目標 24	備考(指標の算定方法など)	
経済・物流動向取りまとめ回数	単位	目標			4	4	4	経済・物流動向を四半期ごとに取りまとめます。
	回	実績			2			
事業費	単位	目標						
		実績						
人員 正規職員	単位	千円			0.05	0.25		
		人						
人員 嘱託職員	単位	千円			429	2,195		
		人						
事業費・人件費の合計		千円			429	2,195		

3 CHECK(検証)

決算ベース(H21は見込) ← 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	中間目標 24	備考(指標の算定方法など)	
調査分析結果の活用率	単位	目標			100	100	100	調査分析結果の活用率を把握することで、本調査の必要性を把握します。
	%	実績			100			
	達成率(%)				100.0			
観点	単位	目標						現状の「見える化」
		実績						
	達成率(%)							
観点を	課題の有無	現状の「見える化」					その他特記事項	
必要性	組合関与の必要性	有・(無)	・世界経済が大きく変動する中、名古屋港での新たな港湾経営戦略を検討するうえで、経済や物流の動向を調査分析することは必要であると考えています。					年度途中から新規業務により繁忙となったため、当初予定していた取りまとめ回数を達成することができませんでした。
	目的・水準の妥当性	有・(無)						
有効性	利用者などの対象者ニーズ	有・(無)						
	成果の達成度	有・(無)	・世界同時不況による名古屋港への影響や国際コンテナ戦略港湾の貨物量ベースとなっている全国輸出入コンテナ貨物流動調査を分析することは、実務に直結しており、非常に有効であると考えています。					
効率性	内容の妥当性	有・(無)						
	実施主体の妥当性	有・(無)						
	受益者負担の適正性	有・(無)	・将来の港湾経営および戦略を考えるうえで、本組合が主体となって実施する必要性は高いと考えています。					
	経済性	有・(無)						

4 ACTION(取組)

事務事業の方向性	取組の方向性(「継続」「延伸」事業のみ)			判断の理由
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 延伸 <input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 休廃止	成果	拡大		継続した分析も重視しつつ、他の調査研究結果の有効活用などを図っていくため。
		維持	○	
		縮小		
		コスト		
今後の取組内容 ・改善策 ・スケジュールの建て直し等		インターネットによる情報収集や他の調査研究結果などを使ってコストを抑えつつ、効率的な調査分析活動に努めます。また、調査分析結果については、庁内ホームページ等を用いて情報共有を図ります。		